

あいさつ

平成17年2月13日に8市町村が合併し、人口約86,000人余、山・川の豊かな自然と中山道、飛騨街道などの街道文化が息づく、面積676平方kmの広い新市が誕生いたしました。合併したそれぞれの地域がその歴史を踏まえて、自然や文化を磨き、お互いにその個性=多様性を認め合いながら、それぞれが持てる力を合わせて統一的に行動することによって、産業を活性化させ、その成果に基づき福祉や文化などの取り組みを進め、持続可能で自立した「豊かな自然と独自の歴史・文化が光る、いきいきとしたふるさと中津川」を市民の皆様とともに実現していきたいと考えています。



中津川市長
大山 耕二

さて、全国各地では大規模な地震災害や風水害が発生しています。

本市は東海地震に係る地震防災対策強化地域に指定されており、加えて活断層でもA級といわれている阿寺断層も存在します。昨年の9月には、市内において集中豪雨が 발생し、民家に土砂が入り込む災害が発生しました。

私は、何時も「災害は忘れた頃にやってくる、備えあれば憂いなし」ということわざを頭の中に描いています。大規模な災害時においては、市役所をはじめとする公的機関だけでは、市民の皆様が満足できる対応はできません。防災の基本として「自分の生命は自分で守る」、「自分たちの地域は自分たちで守る」という自助活動、互助活動が大切であり、そのためには地域ごとに互いに助け合う自主防災組織の強化育成を図るなど地域防災力の向上が必要不可欠となります。

この考え方は、防災だけではなく、本市で起きた昨今の事件を考えると、地方都市といえども現代に共通する課題を背負っていると、改めて強く感じており、次代を担う大切な子供達を守る地域パトロールなどの取り組みをボランティアの皆様と協働して実施いたしております。更に街頭犯罪や振り込め詐欺事件などが増加傾向にありますので、身の回りの防災・防犯に備え、対応や対策を一冊にまとめたマニュアルとして「市民安全安心ガイドブック」を作成いたしましたので是非ご活用ください。

家庭、地域、各事業所をはじめ、消防・警察などの各防災防犯関係機関のご協力を賜りながら、それぞれの地域はもとより、住んで良かったと思われる「安全で安心して暮らせる中津川」を築いていきますのでご理解とご協力をお願いいたします。

平成18年5月

